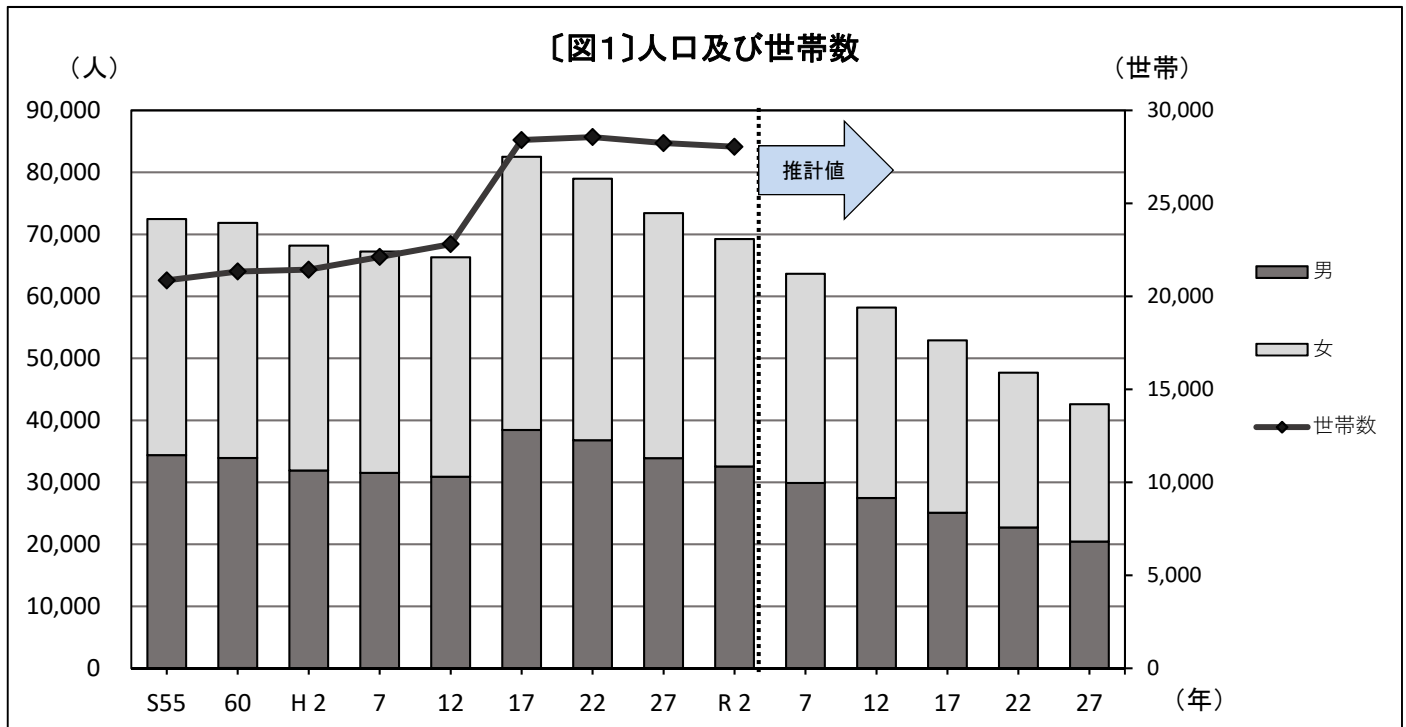


Ⅲ 統計でみる市の状況

1. 人口と世帯

(1) 人口及び世帯数の推移

昭和55年以降人口は減少し、平成17年の合併後も減少は続いています。今後、推計によると令和27年には令和2年と比べ約38%の人口減となることが予想されます。

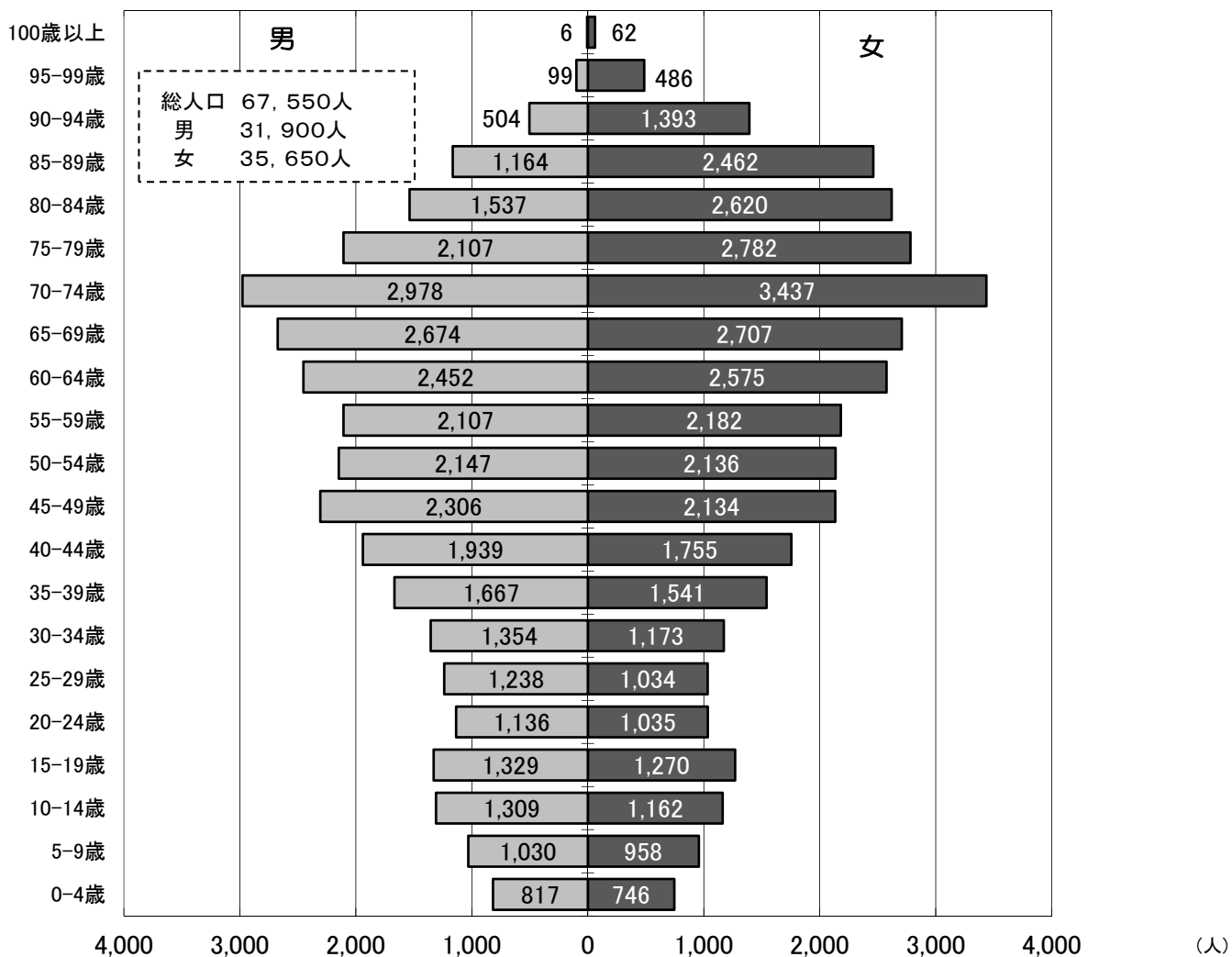


〔表1〕 人口・世帯数

年	人口(人)			世帯数 (世帯)
	総数	男	女	
S 55	72,478	34,392	38,086	20,857
60	71,794	33,859	37,935	21,335
H 2	68,195	31,920	36,275	21,436
7	67,214	31,522	35,692	22,119
12	66,293	30,879	35,414	22,808
17	82,504	38,413	44,091	28,406
22	78,946	36,762	42,184	28,565
27	74,175	33,871	39,524	28,242
R 2	69,237	32,551	36,686	28,044
7	63,626	29,878	33,748	
12	58,183	27,469	30,714	
17	52,895	25,082	27,813	
22	47,674	22,701	24,973	
27	42,577	20,409	22,168	

資料：
 国勢調査（平成17年以降は合併後の数）
 令和7年以降は日本の地区別将来推計人口
 （H30年推計）

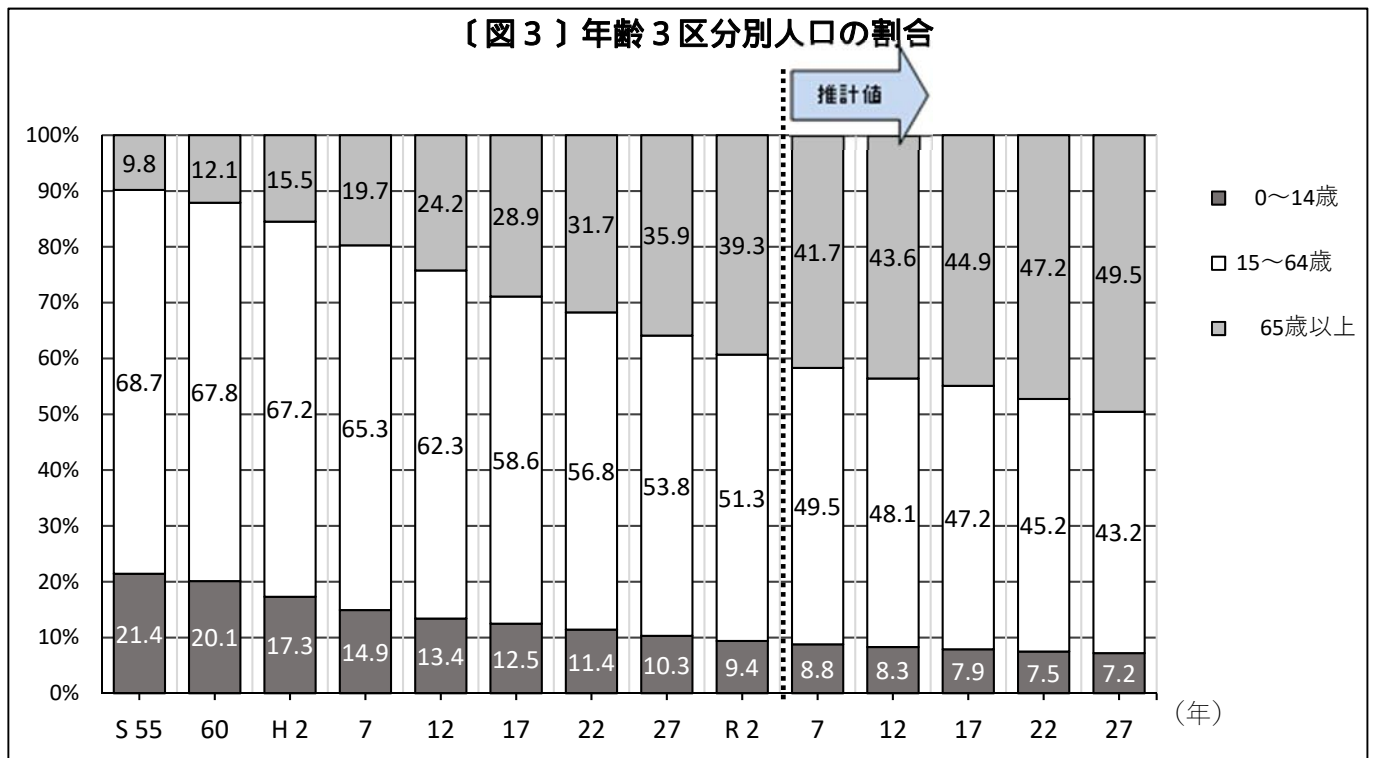
〔図2〕 年齢(5歳階級)別人口



資料：市民課住民基本台帳 令和5年3月末現在

(2) 年齢3区分別人口の割合の推移

少子高齢化が進み、令和2年には15～64歳の生産年齢人口の割合が51.3%でしたが、令和27年には43.2%と全人口の4割程度となり、0～14歳の年少人口は令和2年で9.4%が、令和27年には7.2%になると推計されます。



資料：国勢調査（平成17年以降は合併後の数）、令和7年以降は日本の地区別将来推計人口（H30年推計）（年齢不詳を除く）

〔表2〕 総人口・年齢3区分別人口・世帯数

年	人口(人)	年齢3区分別人口(人)			年齢不詳	75歳以上(再掲)	世帯数(世帯)
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
S55	72,478	15,535	49,807	7,128	8	2,295	20,857
60	71,794	14,416	48,711	8,662	5	2,978	21,335
H2	68,195	11,796	45,799	10,573	27	3,908	21,436
7	67,214	10,047	43,908	13,259	0	4,922	22,119
12	66,293	8,897	41,322	16,032	42	6,306	22,808
17	82,504	10,316	48,314	23,816	58	11,076	28,406
22	78,946	9,026	44,842	25,017	61	13,458	28,565
27	74,175	7,647	39,755	26,549	224	14,670	28,242
R2	69,237	6,479	35,272	26,998	488	14,851	28,044
7	63,626	5,581	31,523	26,522		15,950	
12	58,183	4,846	27,987	25,350		16,184	
17	52,895	4,164	24,974	23,757		15,592	
22	47,674	3,588	21,562	22,524		14,717	
27	42,577	3,077	18,413	21,087		13,435	

資料：国勢調査（平成17年以降は合併後の数）、令和7年以降は日本の地区別将来推計人口（H30年推計）

2. 出生と死亡

(1) 出生数と出生率の推移

出生数は年々減少しています。令和3年出生率は、人口千対4.5で県より0.1低く、全国に比べると2.1低い状況です。

〔表3〕 出生数と出生率

出生数(人) 出生率(人口千対)

年		S62	H4	9	14	17 (市町合併)	22	27	28	29	30	R元	2	3
出生数 大館市		670	618	572	499	594	470	429	391	398	340	351	319	304
出生率	大館市	9.6	9.2	8.5	7.6	7.2	6.0	5.8	5.3	5.5	4.8	5.0	4.6	4.5
	秋田県	10.3	8.8	8.0	7.2	6.7	6.2	5.7	5.6	5.4	5.2	4.9	4.7	4.6
	全国	11.1	9.8	9.5	9.2	8.4	8.5	8.0	7.8	7.6	7.4	7.0	6.8	6.6

資料：秋田県衛生統計年鑑 昭和62年～令和3年

(2) 死亡数と死亡率の推移

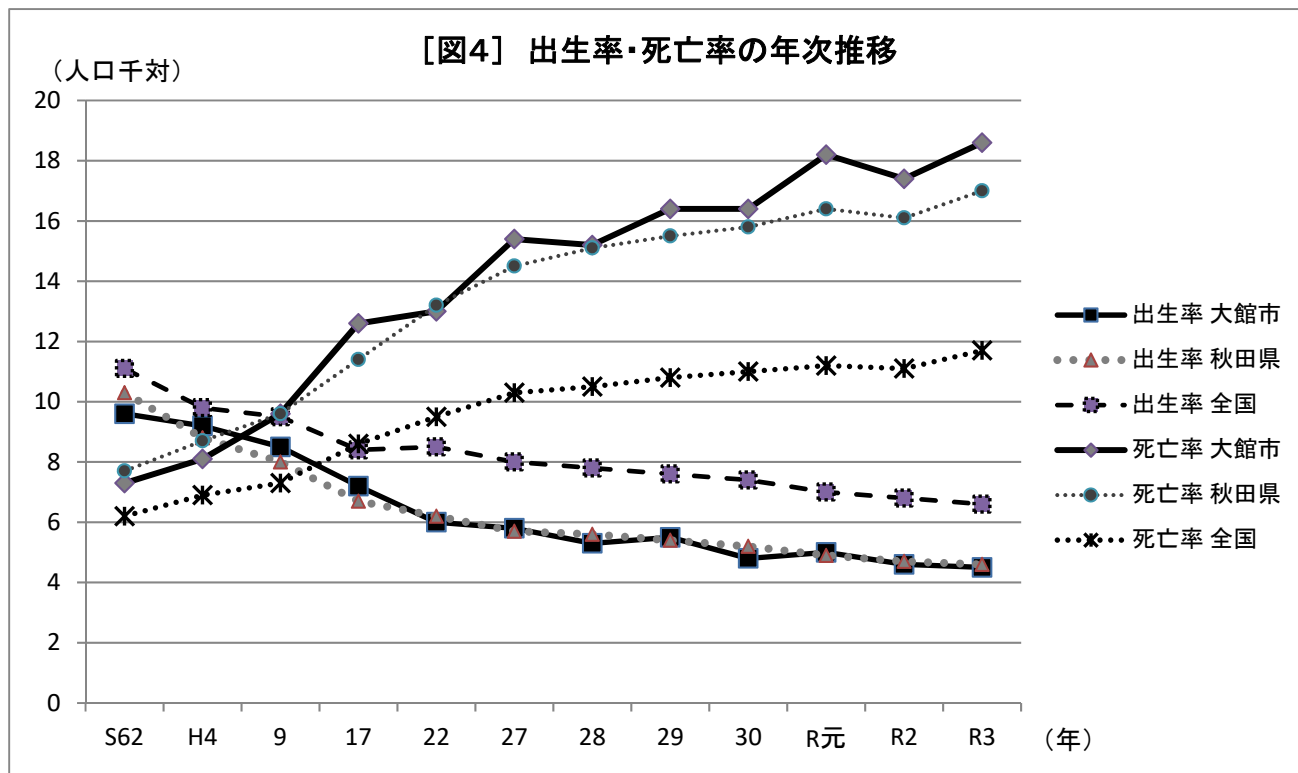
令和3年死亡率は、人口千対18.6で県より1.6高く、全国に比べると6.9高い状況です。

〔表4〕 死亡数と死亡率

死亡数(人) 死亡率(人口千対)

年		S62	H4	9	14	17 (市町合併)	22	27	28	29	30	R元	2	3
死亡数 大館市		514	547	642	728	1,038	1,028	1,146	1,111	1,181	1,167	1,279	1,204	1,266
死亡率	大館市	7.3	8.1	9.6	11.1	12.6	13.0	15.4	15.2	16.4	16.4	18.2	17.4	18.6
	秋田県	7.7	8.7	9.6	10.4	11.4	13.2	14.5	15.1	15.5	15.8	16.4	16.1	17.0
	全国	6.2	6.9	7.3	7.8	8.6	9.5	10.3	10.5	10.8	11.0	11.2	11.1	11.7

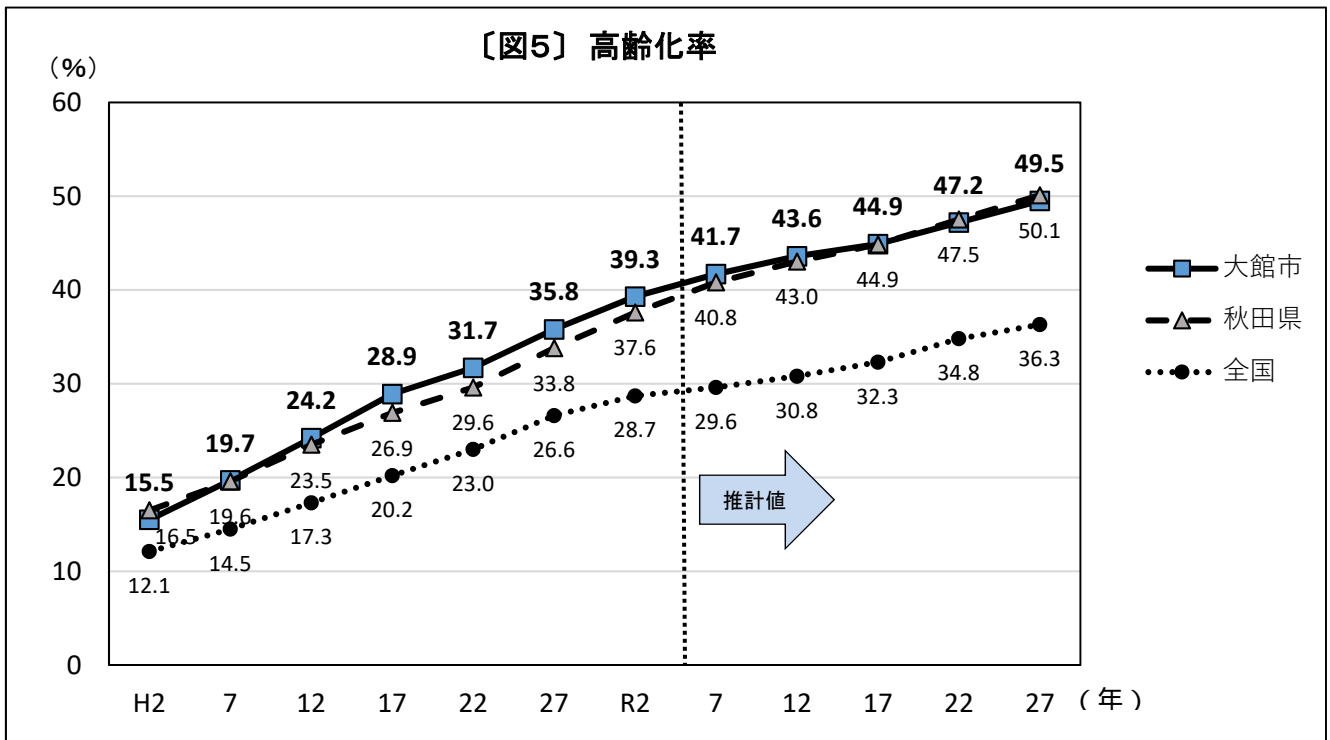
資料：秋田県衛生統計年鑑 昭和62年～令和3年



3. 高齢者

(1) 高齢化率の推移

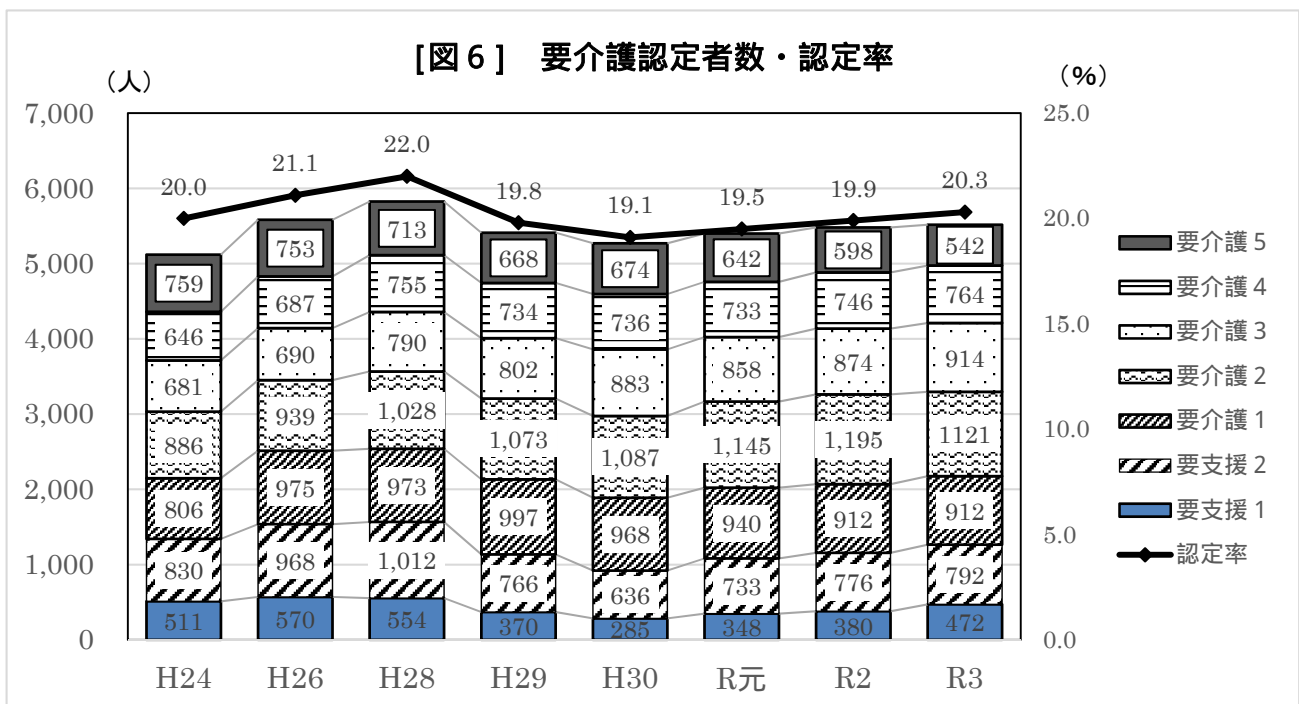
本市の高齢化率は、年々高くなり令和2年に39.3%で、県より高い状況です。推計によると令和27年には49.5%と5割近くになることが予想されています。



資料: 国勢調査、令和7年以降は日本の将来推計人口

(2) 要介護認定者数・認定率の推移

本市の要介護認定率(65歳以上の高齢者人口に対する認定者の割合)は、平成24年から20%前後の横ばいで推移しています。

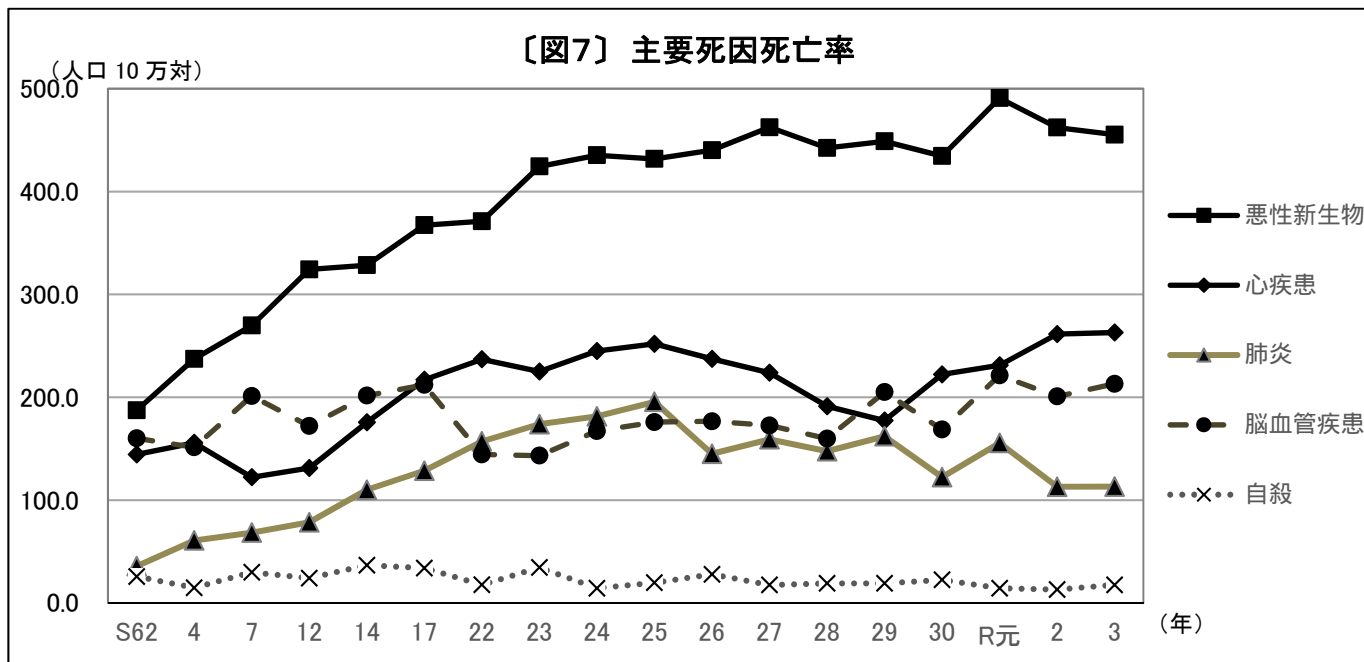


資料: H24~R2年大館市第6期・7期・8期介護保険事業計画 R3年度福祉事業の概要 (R4.3.31現在)

4. 死因

(1) 死因別死亡率の推移

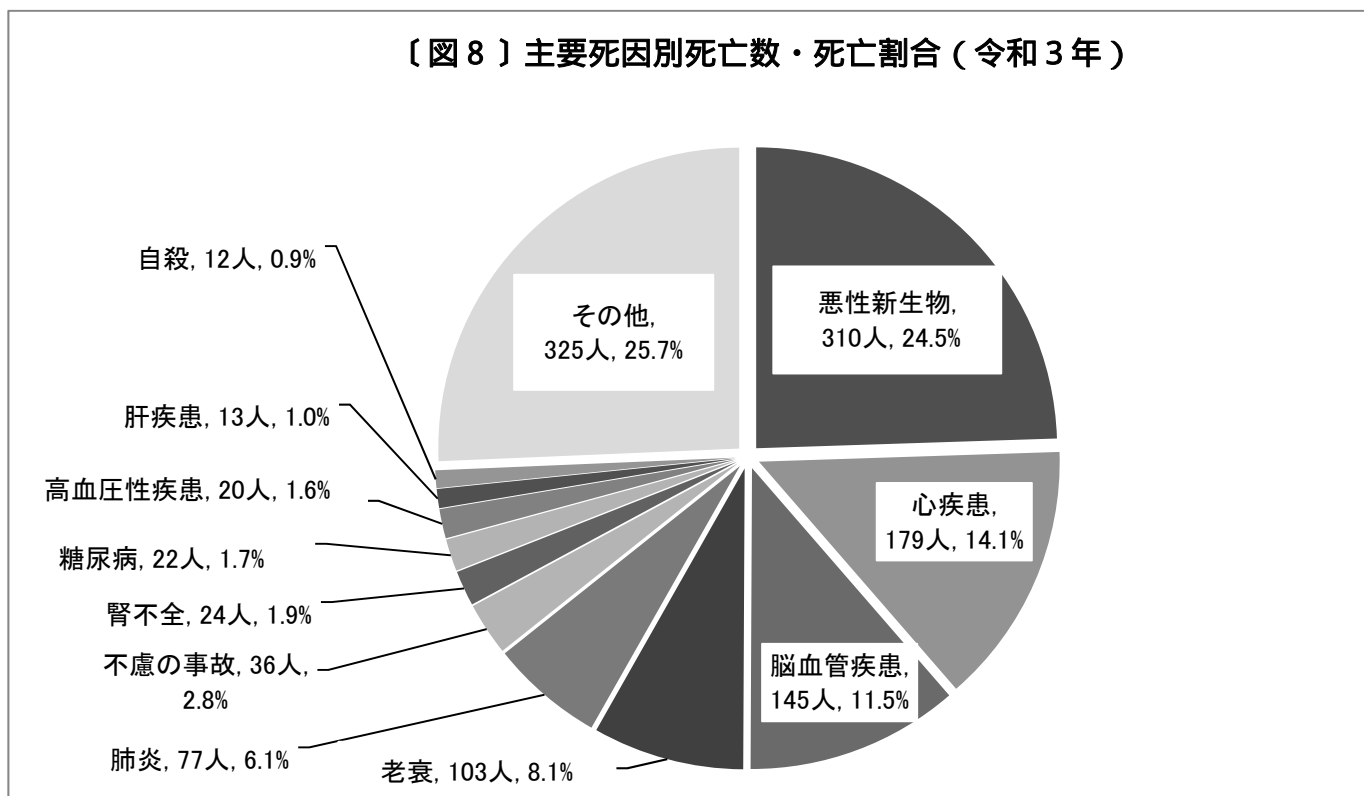
本市の死因の第1位は悪性新生物です。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっています。



資料：秋田県衛生統計年鑑

(2) 主要死因別死亡数・死亡割合

本市の令和3年の全死亡数1,266人のうち、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の3つの疾患で半数を占めています。

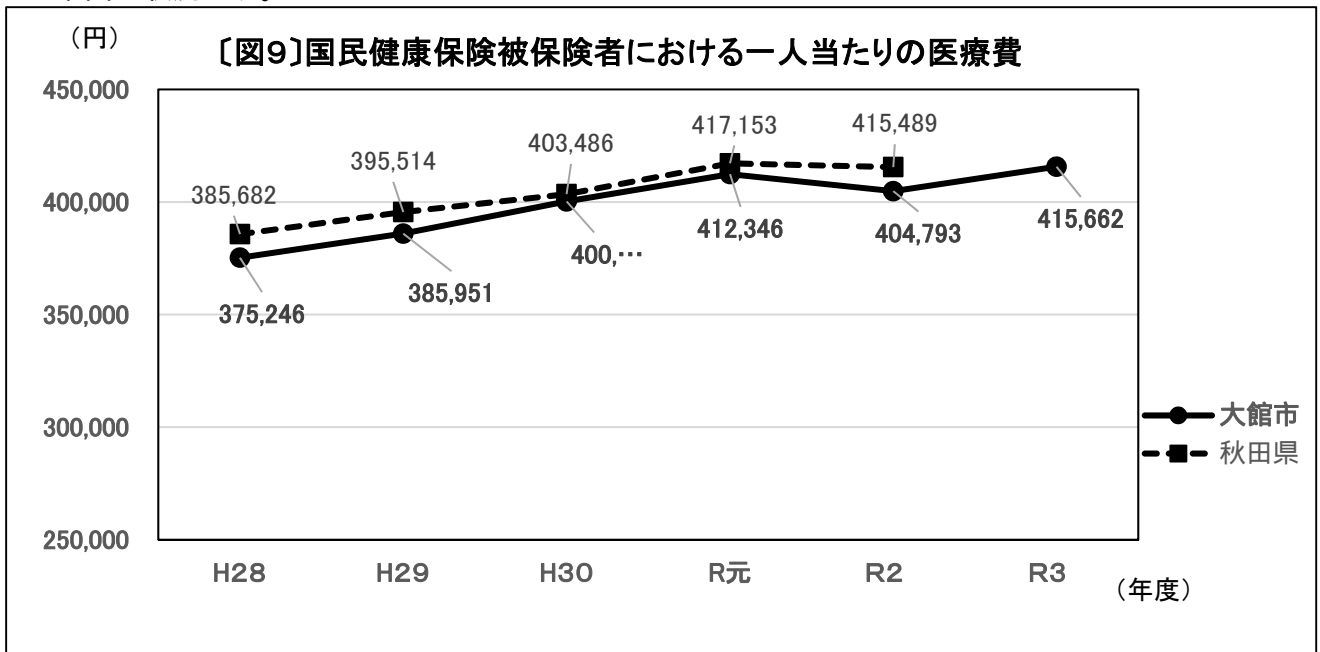


資料：秋田県衛生統計年鑑

5. 医療費

(1) 国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費の推移

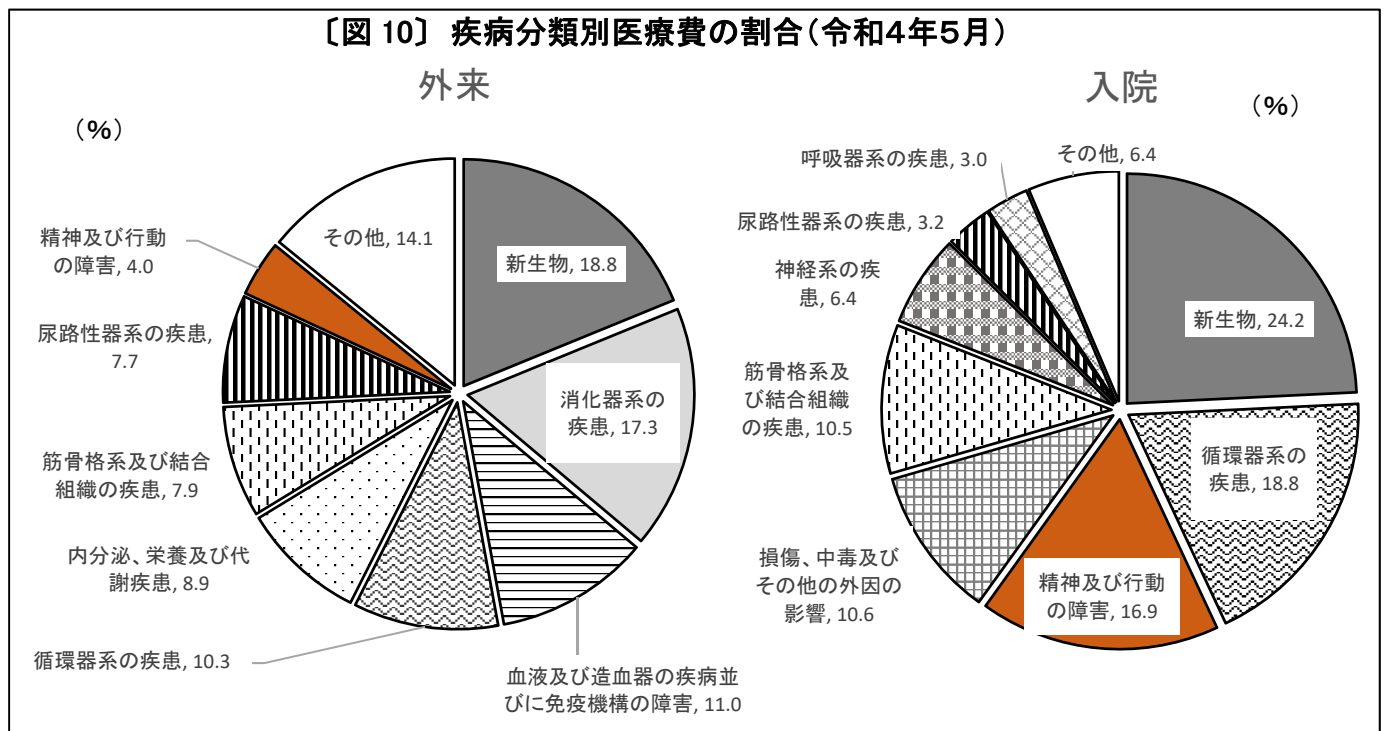
本市の国民健康保険被保険者における1人当たりの医療費は、緩やかに増加していますが、県平均を下回る状況です。



資料：大館市 令和4年度国保・高齢者医療 福祉医療の概要
秋田県 国民健康保険事業状況

(2) 国民健康保険の疾病分類別医療費

本市の令和4年5月（医療費の統計調査の全国的基準月）の診療分における国民健康保険の疾病分類別医療費をみると、外来では新生物、消化器系疾患、血液及び造血器疾患の割合が多く、入院では新生物、循環器疾患の割合が高くなっています。



注 社会保険表章による疾病分類（119項目）から、大分類である19分類を集計
資料：秋田県国民健康保険団体連合会疾病統計システムから集計